

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 隣接の特養の職員や地域の防災協力員の協力を得て、夜間想定での訓練を実施している。年2回の訓練は、いずれも夜間を想定した日中の実施となっている。	明るい日中ではなく、日没後の暗い中での訓練を実施し、危険箇所の再確認を行うと同時に職員の防災意識の向上を図る。	夜間想定での実施時間を夕方とし、暗い中での訓練を計画・実施。 誘導方法も歩行・車イス・布団使用等緊急対応とする。	12ヶ月
2	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 ターミナルケアに関する内部・外部研修に参加し、職員のスキルアップを図っている。現在、看護師が確保できない為、看取りケアは困難な状況。	今後もターミナルケアに関する内部・外部研修に参加し、職員のスキルアップを図る。 ご利用者・ご家族の意向を伺い、ご本人の状態に応じて、かかりつけ医など医療との連携も図る。遠方のご家族の場合も密に連絡をとる。	担当職員を中心にご利用者本人の想いを汲み取るよう工夫する。また、ご家族との信頼関係を築き、その時の状況で「最期は何処で過ごさせたいか」を聞き取りしていく。緊急時・疼痛時は、病院に搬送してほしいなど希望に柔軟に対応する。	12ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。